

進路講演会 感想記録用紙

令和7年4月28日(月)

1 年 5 組 22 番 氏名 柿崎 珠李

■ホームページに感想文と氏名を掲載することを承諾してくれますか？

※○で囲んでください

☒ 承諾する

☐ 承諾しない

【講師】 株式会社リクルート 「キャリアガイダンス」編集長
赤土 豪一(しゃくど ごういち)氏

【演題】 「半径5mからの発見」

■講演の内容を記録しよう(ポイントをメモ)

EPに残った話、鹿児島の子大生 → 高校で京都へ行って
電柱がたいてい 自費でタワラー 京都市役所へ、町を美しく 地下にうめり
他の3人はどうでもいい → 1人だけプレゼンで電柱の話、鹿児島に
なぜ? 外国にはあるの? 町がキレイにしたい → 大学を目指す
半径5mから始める → 目に触れているものがキレイでいい、ひそんでいるかも
しれない → 他の人にとってもいいかもしれない 今の時代 → 線路
だっせんとはいけばある程度すめた 今の時代 → サーフィン 真実に行く
ことはできないけど自分の行く方向に行く → 今の時代で大切な必要なのは
課題を自分で発見する

1. そもそも課題って何だろう

理想 ↔ 課題 理想を手にするために解決する ~~こと~~ が必要 考え まずは課題を置く

■全体的な感想はどうでしたか(該当するものに○印)

大変参考になった [] 少し参考になった [] あまり参考にならなかった []

■今回の講演について、感想を自由に記入してください

今まで自分が課題を発見するようと言われていたことはありました。でもなぜ自分が
課題を発見する必要があるのかは考えたこともありませんでした。そもそも私の中で
課題とは必ず解決しなければいけないものだと考えていたので正解は7つ、皆々
はもっとすごいことか大切だということを知って驚きました。課題を発見するためには、
才能が必要で、発見のきっかけは半径5mにある。そこにあるのは気づくか
気づけないか、行動するか 行動しないかだけ。きっと私にはそんなすごいことはできないと
思っていました。でもそうではなくて他の人にはどうでもいいことかもしれない、おもしろい
ことでもないかもしれない。それでも気がきく以外と近くにあって、視点を換える
だけで見つけられるかもしれないと思うことができた。

[生徒 → 担任 → 進路部]

進路講演会 感想記録用紙

令和7年4月28日(月)

1 年 5 組 16 番 氏名 P 温 い

■ホームページに感想文と氏名を掲載することを承諾してくれますか？

※○で囲んでください

承諾する

承諾しない

【講師】 株式会社リクルート 「キャリアガイダンス」編集長
赤土 豪一(しゃくど ごういち)氏

【演題】 「半径5mからの発見」

自分の半径5mの外
自分の体感から
気づいて、未来を
生きる。活かして
いこう。

今の時代

■講演の内容を記録しよう(ポイントをメモ)

京都→電線が地下にうまっている

→おもしろい!!→将来の夢へ
(人それぞれ感じるこがある)

人に、気づけるものはちがう

そこに気づくことが出来る

ということは何がある

7777、
きこえる!

→新発見

今 未来
自分の未来
が出来る
(なりゆき)

様々な可能性

実現になれる人がいるかもしれない。精神

・ありがとう。って言う。もらえるかもしれない。

半径5mからはじまる

はじまりの1歩は

自分の身のまわりから、

ばかり取り組むこと

思えること

自分の世界

自分の思ったこと

視点を換える

ここで、新しい

課題を発見

本質的な課題

の発見が、

本当に人が

嬉しいことに

なる

「気づく→行動する」が大事!!

課題を発見する力

理想とする姿の実現

に向け、現状とのギャップを感じる

こと

系内得解⇒

新しいと

感じる人

が増える

ホスピタリティ(MRI)

0-Pot (おもしろい)

が場 (すばらしい、地味)

(くろ) (食肉を太陽熱で照らす)

科学館 (子どもたちのため)

(年間おいてある)

町の書店 (おもしろい本屋、幅広いニ

ズお金からスタート(2023)

やどやと連携など)

■全体的な感想はどうでしたか(該当するものに○印)

大変参考になった [〇]

少し参考になった []

あまり参考にならなかった []

■今回の講演について、感想を自由に記入してください
高校生という視点から考えた進路講演会だと思いましたが、人生単位で、将来の夢がまだ決まっていなかった私にと、あはれとあつという間の講演会だと思ひ初めて感じる事が出来ました。たてさんの例を聞いて、本当に半径5m以内から、かけになることが見つけるのだなということを学んで、これまで感覚でずらつたものが、うはものかや、ときまきらにはじめて少し周りの世界に興味をもてるかとも思うことが出来ました。成功する人たちは小さなころからすぐ変わったことをま、かけにはじめているから、ま、はきつと無理だと思ひ、ている自分が心の底にいと分かりましたし、しかも、アメリカで失敗したことから、はじまった人の話が、一番しょうがま的で、やりたいことと合、ていることがみあわす、知たばかりだと思ひ、ている私にとって、チャンスがあるかも!!と希望をもつことが出来ました。自分では、視野を広げて生活しているつもりでしたが、全然まだまだだと分、かたし、もっとも、とできるかも、とうれしくなりました。すぐ心に残るすばらしい講演会をきけたことをほこりに思ひます。最後のVTRもとても感動しました。伝えたいことがたくさんあつて、言葉がなくてすみません。今、思、んだことをこれからの人生にも活かしていけようと思ひます。本当に本当にありがとうござい、ました。

[生徒 → 担任 → 進路部]

進路講演会 感想記録用紙

令和7年4月28日(月)

2 年 6 組 28 番 氏名

謝訪瑠子

■ホームページに感想文と氏名を掲載することを承諾してくれますか？

※○で囲んでください

承諾する

承諾しない

【講師】 株式会社リクルート 「キャリアガイダンス」編集長
赤土 豪一(しゃくど ごういち)氏

【演題】 「半径5mからの発見」

■講演の内容を記録しよう(ポイントをメモ)

半径5mから(はじまる)学べ

実はもう面白いもの、interestedなものに出会っているかも、
これから出会いがあるかも。

前	今
線路 ひとつの路線、 ほぼ決まっている。	サーフィン いろんなことがある、 分らない、 まっすぐには すすまない。 自分の思う方向に すすむ。

ホスピタルアート
金川路こども遊学館
ビレバン、いわた書店

一歩み出す
何もばい

イベントは
身の周りに
たくさん

自身の失敗から
得たものがある

課題を自分で発見する力

理想と現実の實現に向けて。
目指すこと。チャップリン。

正解のない社会で、かっこいい発見し、
かっこいい決断することには価値がある。

目には見えなくても、気づかうとし
たひと気づけないものがある。

色々は自然
(めがね) 自分の視点だけでは
気づけないものがある。

人によって気づけるものは違う。そこに
気づくことができる。ということは何がある。

■全体的な感想はどうでしたか(該当するものに○印)

「アンブレラマン シュワブ」

大変参考になった [○]

少し参考になった []

あまり参考にならなかった []

■今回の講演について、感想を自由に記入してください

言葉に表せないくらい、夢と心を打たれた講演会でした。線路とサーフィンという
例えが的確すぎて、今の自分は線路に似ているなと感心しました。イベントは身の周りに
たくさんあり、色々なメカネを増やして、着けることが大切と学んだので、自分の
進路について学べ直してみようかなと思いました。最後に見た動画に
とても感心しました。人生に一度やりしかたない高校生生活だからこそもっと冒険したい
です。この講演でホスピタルアートに興味をもったので、詳しく調べたいです。

これから生活していく中で、少しでもワクワク!!と感じたことがあると、追究
してメカネを増やして、自分のこれからをもっと豊かにしていきたいと思えます!!

[生徒 → 担任 → 進路部]

進路講演会 感想記録用紙

令和7年4月28日(月)

2 年 3 組 27 番 氏名 白取 夏蓮

■ホームページに感想文と氏名を掲載することを承諾してくれますか？

※○で囲んでください

承諾する

承諾しない

【講師】 株式会社リクルート 「キャリアガイダンス」編集長
赤土 豪一(しゃくど ごういち)氏

【演題】 「半径5mからの発見」 司会 渡

- 講演の内容を記録しよう(ポイントをメモ) ☆半径5mから全てが始まる。→学びstart!!
- 京都の電線は地下に埋めている? → 課題を自分で発見する → 解決は2次
 - 町づくりにもうけん (VUCA) → 理想と現実 それが課題になる。
 - 今の時代は「波」のよう → 正解が分からん → 実現することによって悔しを感じる
 - ホスピタルアート → 恐怖心を和らげる
 - 自分の立場と相手の立場を 切り替える。 → 考え方のヒント → ×かえ → 視点も変える。(ある種の10人かえ)
 - 問題把握 1つの用途 から 沢山の用途 になりうる。
 - 観察からある共通点を見出す → 課題発見
 - 実現可能な範囲の開発
 - 「これがあ」という認識を言わなくて始めて脳が理解する
 - 何が問題、があるから生み出さる。 ○自身の経験から、→ 小さな経験から、まっかけから、
 - 本質的な課題発見 → うれしいんがある。(本当に) ○ポイントしてしーッッッ → 起業家精神

☆半径5m以内は半径の発見がある (描き添える)

■全体的な感想はどうでしたか(該当するものに○印)

大変参考になった [○] 少し参考になった [] あまり参考にならなかった []

■今回の講演について、感想を自由に記入してください

今日の講演から、課題を発見をする力の大切さを改めて再認識しました。
日常から目にしているものを深く考えることはあまりないけれど、深く考える
人があるからこそ、「ホッド」や「MRI」のような元々あるものを改良し
てまた用途が増えていくのだと感じました。1つのもの用途が沢山の
用途 へ変わることは、「課題」を日常で見出すことにつながるの
だと感じたからです。また、日常からの改めでの認識をすることと
そこにあったものが「色」付くんだろうなと考えました。日常に「色」が付くことで
沢山のワクワクするような課題や発見をひまするのなら、生きている日々が
楽しくなるんだなと思いました。

[生徒 → 担任 → 進路部]

進路講演会 感想記録用紙

令和7年4月28日(月)

2 年 3 組 21 番 氏名 熊谷 天那

■ホームページに感想文と氏名を掲載することを承諾してくれますか？

※○で囲んでください

承諾する

承諾しない

【講師】 株式会社リクルート 「キャリアガイダンス」編集長
赤土 豪一(しゃくど ごういち)氏

【演題】 「半径5mからの発見」

■講演の内容を記録しよう(ポイントをメモ)

半径



電柱がない

課題を自分で発見する

今→サーフィ

正解がない社会

MRIホスピタル

理想⇔現状>課題

例: 策を考える

解決する価値

誰の視点

課題の障(ギャップ)をなくす

製品の

誰の視点 課題の障(ギャップ)をなくす

製品のデザイン

機能だけでなく

普段見ている中に必ずヒントが見つかる。

→ 使用者の気持ちを考えた

「ありがとう」

〈例〉赤いさがす

→ 消火器など

みじか5m

使用者の姿を

観察する

「ありがとう」

「Xガネ」

目線(いろんな年齢)

本質的な課題

自身の失敗から世界へ

人によって気づけるものは違う

人がうれしいと自分もうれしい

新しい未来

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

「Xガネ」

